

9月1日 「防災の日」 8月30日～9月5日 「防災週間」

災害は忘れたころにやってくると言われます。いつどこで起きるかわからないのが災害です。災害が起きた時、家族全員がいっしょにいるとは限りません。そんな時でも、あらかじめ避難場所を決めておけば安心です。日ごろから家族全員で避難場所までの道順を決めておきましょう。

また、災害による被害を最小限に抑えるためには、「自助」「共助」といった住民の皆さんの協力が必要となります。いざという時、自分を守るのは、まず自分自身、そして隣近所など地域住民の助け合いです。各行政区には、「自主防災組織」が組織されています。日ごろから災害時に援護を必要とする方と交流（あいさつ）をもつなど、災害に強い地域づくりを進めましょう。

非常時に必要となるものを準備しておきましょう。

また、定期的に点検し、古くなったものは交換しておきましょう。

●備蓄品

災害復旧までの数日間を自足するためのものです。家族全員が3日程度過ごせる量を用意しておきましょう。

- ・非常食（レトルト食品、缶詰、インスタントラーメン、チョコレート、調味料など）
- ・水（飲料水は1人1日3リットルが目安）
- ・生活用品（カセットコンロ、ガスボンベ、毛布、衣類、生理用品など）
- ・工具類（スコップ、バール、のこぎりなど）

●持ち出し品（避難する際）

必要最小限の物をリュックなどに入れて持ち出しやすい場所に保管しておきましょう。

- ・ヘルメット、防災ずきん
- ・懐中電灯（予備電池）
- ・携帯ラジオ（予備電池）
- ・非常食（乾パンなど）
- ・水（ペットボトル入りのもの）
- ・生活用品（衣類、軍手、ナイフ、ライターなど）

※お薬手帳（常用している薬など）も忘れずに。



◆避難場所

- 皆野地区……………皆野小学校、皆野中学校、町民運動公園、総合センター、柔剣道場、皆野スポーツ公園
- 国神地区……………国神小学校、転作研修センター、皆野幼稚園、長生荘、自然休養村管理所、皆野高校
- 日野沢地区……………わく・ワクセンター、水と緑のふれあい館
- 金沢地区……………旧金沢小学校、金沢生活改善センター
- 三沢地区……………三沢小学校、三沢農業集落センター

問合せ 総務課企画政策防災担当

☎62-1231

～体験しませんか 災害の疑似体験を～

いつどこで起きるかわからない地震。大地震がある日突然起きた場合、私たちは慌ててしまい、自分の身を守ることがおろそかになりがちです。そんな不安を少しでも解消したい人にお勧めなのが、「埼玉県防災学習センター」です。

館内では、4つの災害体験室（消火体験室・暴風雨体験室・地震体験室・煙体験室）で疑似体験をすることができます。

○利用案内

- ・利用時間 午前9時～午後4時30分
- ・入館料 無料
- ・休館日 月曜日（祝日の場合は翌日）、年末年始

問合せ 埼玉県防災学習センター（鴻巣市）

☎048-549-2313

